

後継者育成塾

2024

熊本県事業承継・引継ぎ支援センター



写真提供：熊本城総合事務所

発行
2025年3月

熊本県事業承継・引継ぎ支援センター
令和6年度事業承継・引継ぎ支援事業

〒860-8547 熊本県中央区横紺屋町10番地
熊本商工会議所 5階
Tel:096-311-5030

国内企業の99%を占める中小企業は、雇用創出や技術の継承・開発など、地域経済を支える重要な役割として、わが国に欠かすことのできない存在です。その一方で、少子高齢化・人口減少による経営者の高齢化と後継者不足は深刻な状況で、中小企業庁によると、中小企業の廃業理由の約3割が後継者不足となっております。企業は社会基盤の担い手であり続けるために、物価上昇や人手不足といった目下の経営課題に直面しながらも、将来を見据えた事業戦略に目を向けることが強く求められています。



熊本商工会議所
会頭 久我 彰登

こうした中、熊本商工会議所では、事業承継を重要な経営支援テーマと位置づけ、熊本県や県内各支援機関と連携し、事業承継への関心を喚起する広報活動を行うとともに、「後継者育成塾」の事業主体でもある熊本県事業承継・引継ぎ支援事業（熊本県事業承継・引継ぎ支援センター）の受託など、熊本県全域の支援体制の構築、並びに、円滑な事業承継支援に取り組んでおります。

また、県内では地域経済を守る方策として事業承継に注目する自治体が増え、事業承継支援に向けた連携協定の動きがみられます。当会議所と熊本県事業承継・引継ぎ支援センターを含む7機関も、昨年6月、熊本市と「熊本市事業承継連携支援に関する協定」を締結し、それぞれが有する支援機能を活かした事業承継支援を進めていくことを確認いたしました。

こうした動きのほかにも、県内各地におきまして、熊本県事業承継・引継ぎ支援センターと連携したセミナーや個別相談会が開催されております。

令和元年度から取り組んできた「後継者育成塾」は、事業承継を後押しする事業として好評を博し、11社にご参加をいただきました。

参加者からは、「事業承継に対する考え方を再認識する事ができた」、「課題や解決策を学ぶだけでなく、自分たちの会社の方向性を考える良いきっかけづくりになった」など、好意的な声が多数寄せられ、本事業の意義を再認識したところです。

これを機に、参加企業の円滑な事業承継が促進されるとともに、本報告書を通じて、多くの経営者や後継者の気づきや学びとなりますことを期待しております。

最後になりますが、中小企業基盤整備機構、並びに、各自治体の関係者の皆様、そして県内各支援機関の皆様の手厚いご支援により、大変意義深い事業となりましたことに深く感謝申し上げます。

熊本県事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 山田博昭

2024年度は本格的なアフターコロナに入り景気回復の兆しも出てくる中、地元熊本におきましても、TSMCの本格稼働と第二工場誘致の決定、協力会社等の旺盛な設備投資の効果、更にインバウンド需要の回復とも相まって景気回復への動きは顕著なものとなって参りました。

しかしながら一方では、原材料等の価格高騰や深刻化する人手不足の問題により、事業の継続すら危ぶまれるような事業者さまが出てきていることも事実かと思えます。

この様な状況の中、わたくしども熊本県事業承継・引継ぎ支援センターでは、事業承継に課題を持たれている事業者さまに対し、少しでも早めにご相談をいただけるよう事業者さまへのご案内と課題解決に向けたさまざまな支援活動を行っているところでございます。

事業の承継は、どうしても後継者がいない場合は、第三者への承継を検討することになりますが、ご親族内に後継候補者がいらっしゃる場合は、まずは親族内承継で事業を繋いでいくことが基本になるものと考えます。

この親族内承継を計画的、且つ適切に進めるためのご支援として行っているのが、この後継者育成塾でございます。

2024年度に実施されました育成塾の具体的内容と個社の事例等をご覧いただき、今後、みなさまの事業承継（親族内承継）のご参考にさせていただければ幸いです。

今後とも関係機関の皆さまのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本県事業承継・引継ぎ支援センター 承継コーディネーター 井上照教

令和元年度、熊本県独自の新たな試みとして、これから事業を引き継ぐ「後継者」に焦点を絞った「後継者育成塾」をスタートし、今年度で6回目を終了することができました。

昨年度同様、各関係者様のご協力を頂きながら、熊本市会場での実施となりました。

参加していただいた後継者様、後継者を伴走しサポートされた支援者様、また、ご協力いただいた専門家の皆様をはじめ、各関係者様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

後継者の皆様には、事業の分析・経営課題の整理を行うことで、環境変化に適応する経営改善・革新に取り組む機会になったと思います。同時に、現経営者の考え・想いを組み入れた事業承継計画書の作成に取り組んでいただきました。あらためて、自社を取り巻く環境と経営状況を再確認され、事業承継への早期着手の重要性にお気づきいただけたと思います。

この小冊子は、後継者育成塾の成果を記録媒体として編集したものです。カリキュラムや受講者・伴走者を紹介掲載しています。是非ご一読いただき、「後継者育成塾」の雰囲気を感じていただければ幸いです。

円滑な事業承継を進めるためには、十分な準備と時間、さらには関係者間の円滑なコミュニケーションが必要です。承継の実現に向けた取り組みをすぐにでも行わなければ、廃業につながる可能性が高くなってしまいます。今後も、経営者の意識に潜在している可能性のある事業承継問題の掘り起こしを続けて参ります。

この取り組みが、少しでも経営者・後継者・支援者の皆様の参考になれば幸いに存じます。

あいさつ	P 1
目次	P 3
後継者育成塾概要	P 4
後継者育成塾カリキュラム	P 5
講師紹介	P 6
熊本市事業承継連携支援	P 7
登壇者紹介	P 9
落語で学ぶ事業承継セミナー(天草)	P 11
参加企業紹介	P 12
支援機関一覧	P 16
エリアコーディネーター紹介	P 17
センター活動報告	P 18
後継者育成塾歴史	P 19
センター紹介	P 21

後継者育成塾概要

事業承継計画書の作成支援研修（支援者向け）

2024年8月8日～10月末 配信（オンライン形式）

カリキュラム

- ▶ 事業承継とは（事業承継で引き継ぐもの、事業承継のステップ）
- ▶ 事業承継計画書の概要と構造
- ▶ 現状分析（主要株主、資産情報、財務状況、SWOTなど）のポイント
- ▶ 事業承継における課題整理の方法
- ▶ アクションプランの考え方



事業承継計画書ミニセミナー 事業者様と支援者

2024年9月6日（金） 15:00～17:00

カリキュラム

- ▶ 事業承継とは
- ▶ 事業承継計画書の概要と構造
- ▶ 現状確認（主要株主、親族関係者、資産状況など）
- ▶ 当社の強み、弱み、機会、脅威の把握
- ▶ 経営課題の整理（会社、経営者、後継者）



後継者育成塾

2024年10月10日（木） 13:30～16:00

- ▶ ガイダンス、事業承継計画書の構造
- ▶ 発表：期待・意気込み
- ▶ ワーク：計画書作成 …会社概要等



2024年10月25日（金） 13:30～16:00

- ▶ パネルディスカッション：登壇者による講演
- ▶ ワーク：強み・弱み・経営課題の整理等



2024年11月12日（火） 13:30～16:00

- ▶ ワーク：スケジュールの見える化等
- ▶ 事例動画鑑賞
- ▶ 発表：感想・今後の抱負

受講された方の感想

- 事業承継について頭の中の整理ができ、着手すべき点がイメージできた。
- 計画書を作成する上でのポイントが簡潔にまとめられており、短い時間でしたが大変分かりやすかった。
- 支援者として“事業承継とは…?”の部分は学んできたが、具体的に支援（計画策定）の内容まで知る機会がなかったので、大変勉強になりました。
- 事業承継をするにあたり、準備の大切さを学べ、大変役に立ちました。

【事業承継計画書】の作成

ポイント

中小機構の西元アドバイザーを講師に、ワークショップ形式(当事者と伴走者)で実施。事業承継計画書の作成を目的として、各ワークでの事業承継にかかる知識の習得や自社の経営分析(内外環境)を、関係者の対話を重視しながら行い、経営全体を捉えた現実味のある事業承継計画を検討した。※承継経験者(ゲスト)とのディスカッションあり。

研修ワークの内容

- ・現状分析～「会社概要」、「沿革」、「株主／親族関係」
「経営者資産状況／会社財務状況」、「SWOT分析」
- ・将来計画～「経営課題の整理」、「円滑な事業承継のための計画骨子」
「事業承継スケジュールの見える化」

アウトプット (事業承継計画書)

事業承継計画分析資料

1. 会社の概要

1.1 会社概要

1.2 経営者資産状況

1.3 事業の分析

1.4 SWOT分析

2. 経営課題の整理

2.1 経営課題の整理

2.2 円滑な事業承継への骨子

事業承継計画書 (注)

項目	事業承継計画書 (注)									
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
売上高	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800
営業利益	200	240	280	320	360	400	440	480	520	560
株主総数	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
従業員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

講師挨拶

後継者育成塾講師

中小企業基盤整備機構九州本部
中小企業アドバイザー 西元 知基

プロフィール

中小企業診断士
GENコンサルティング株式会社 代表取締役
大手清涼飲料水メーカーの勤務経験を経て、2010 年に経営コンサルタントとして独立（2016 年法人成り）。
専門分野は、事業承継、組織活性化、コーチング、経営戦略、経営革新、事業継続計画、ISO（審査員経験あり）など。民間企業、公的機関、金融機関等で年間 50 本以上の研修講師を行う一方、企業の経営顧問やプロジェクト（課題解決）などの実務支援に尽力している。



講師からひとこと

この度の後継者育成塾で講師を務めさせていただきました中小企業基盤整備機構九州本部の西元です。

ご参加いただいた企業の皆さま、支援機関の皆さま、ご協力くださった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

近年、経営環境はますます変化が激しくなり、事業承継においても、単なる経営の引き継ぎにとどまらず、持続可能な経営戦略の構築が求められています。デジタル技術の進展や市場の変化に対応しつつ、企業の独自性を活かした発展を図ることが重要です。今回のワークショップを通じて、皆さまが未来へのビジョンを明確にし、事業承継計画の具体化に向けた取り組みを進めてくださったことを大変心強く感じております。

また、今回は初めてワークショップ後のフォローアップとして、ご参加いただいた企業のうちの数社を訪問し、直接課題のご相談を受ける機会をいただきました。実際の現場で具体的な課題に向き合うことで、より実践的な支援の必要性を改めて実感しました。事業承継は計画を立てるだけでなく、その計画を実行し、継続的に見直していくことが成功の鍵となります。今回の訪問が、皆さまの事業承継をより円滑なものにする一助となれば幸いです。

事業承継計画書の策定において、特に重要なポイントは以下の3つです。
一つ目は、現状の把握と強みの明確化自社の現状を正しく把握し、強みと課題を整理することで、承継後の方向性を明確にすること。
二つ目は、承継プロセスの具体的なスケジュール化“いつ、何を、どのように進めるか”を計画に落とし込み、実行可能な形にすること。
三つ目は、関係者との対話と合意形成経営者・後継者間だけでなく、従業員や取引先など、関係者との対話を通じてスムーズな承継を実現すること。

今回の後継者育成塾が、皆さまの事業承継を円滑に進める一助となれば幸いです。引き続き、計画の実行と改善を重ねながら、より良い未来へとつなげていただければと思います。今後の皆さまのご発展を心よりお祈り申し上げます。

熊本市事業承継連携支援

令和6年6月19日『熊本市事業承継連携支援に関する協定書』の調印式が行われました。本協定は、事業者さまの事業承継を促進し、廃業による経済損失を防ぐとともに、承継による事業拡大を目指すことを目的として、熊本市と支援機関等7者において連携協定を締結したものです。具体的には下記項目に対して連携して取り組んで参ります。



- ・事業承継に対する意識向上や支援策の周知に関すること
- ・個人事業主を含む中小企業、団体等からの事業承継に伴う相談に関すること
- ・事業承継に向けた具体的な支援に関すること
- ・その他、目的を達成するために必要なこと

上記取り組みに関する一環として、今年度は熊本市と共催にて後継者育成塾を開催しました。

熊本商工会議所

- ▶ 専門家による相談会
- ▶ 後継者育成塾
- ▶ 事例紹介等セミナー開催

熊本日報新聞

- ▶ 日刊新聞紙面上での情報発信

熊本県商工会連合会

- ▶ 事業承継個別相談会
- ▶ 事業承継セミナー開催
- ▶ オープンネームによる後継者お探し支援サービス

JFC 日本政策金融公庫

- ▶ 制度融資の活用による資金繰り支援
- ▶ HP上で後継者公募マッチング支援

株式会社 ウェイビー

- ▶ 承継型起業のセミナー
- ▶ 企業価値ブラッシュアップ相談会

株式会社 ライトライト

- ▶ プラットフォームの提供
- ▶ 「事業承継にそなえるセミナー」開催

熊本市 Kumamoto City

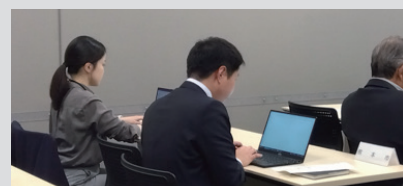
- ▶ 市公式SNS等を使った広報
- ▶ 会場（市施設）の提供

この度は、11社の皆様に後継者育成塾にご参加いただき、ありがとうございました。

本市においては、経営者の平均年齢が60歳を超えている中で、その半数近くは後継者不在となっており、廃業の大きな要因の一つとなっています。一方で、事業承継が完了した企業は、売上高の成長率向上や、事業再構築に繋がる傾向にあるため、後継者を発掘・育成し、事業承継を推進することは、廃業の抑制だけでなく、企業の成長、ひいては地域経済の持続的発展に繋がるものと認識しております。

そのような中で、今回の後継者育成塾を受講いただいた皆様には、自社の分析や経営課題の整理、事業承継経験者のパネルディスカッション等を通して、自社の事業承継計画書を作成いただきました。講義中には後継者の方だけでなく、現経営者の方・支援者の方と協議をしながら真剣に自社の将来を考える姿を目にして、参加企業の皆様が大切に育まれた事業が、次世代に引き継がれ繋がっていくことを確信しました。

今後とも、円滑な事業承継のために「後継者育成塾」が開催され、多くの後継者の方にご活用いただくことを期待しています。



熊本市 経済観光局 産業部 経済政策課

事業承継特別相談会

熊本市と事業承継・引継ぎ支援センター主催にて、市内5区役所で事業承継相談会を開催しました。

事業承継

特別相談会

熊本市事業承継連携支援
ツグKUMA
Kumamoto City Business Succession
Collaboration Support

無料

熊本市事業承継連携支援の一環として、熊本市との二者主催により下記の5か所にて定期的を実施。

令和6年7月10日	熊本市中央公民館	6階	小会議室
令和6年9月9日	熊本市東区役所	1階	会議室
令和6年11月11日	熊本市西区役所	1階	会議室
令和7年1月14日	熊本市南区役所	2階	会議室
令和7年3月11日	熊本市北区役所	2階	会議室



- 親族に承継したいがなにから手をつければいいのか分からない
- 第三者に事業を譲りたい、または譲り受けたい
- 事業を承継できる適任者がいない
- 従業員に事業を譲り渡したいがどうしたらいいのか分からない

事業者様の事業承継のお悩みは各社様々ではありますが、最近の傾向として、経営者の高齢化、親族内承継の減少、後継者不在による黒字廃業など、課題や問題を先送りにした為に事業が廃業に追い込まれてしまうケースが数多く見られます。この状況を踏まえ、できるだけ早い段階での相談が何よりも重要であると感じています。

実際、相談会に参加されて事業承継の大切さを認識され、早い段階で良いお相手様とのマッチングが出来たケースや、センターが仲介に入ることにより双方に安心感を与えることができ、親子間の意思疎通が図られ事業承継がスムーズに進んだケースなど成功事例も数多くあります。

公的機関である「事業承継・引継ぎ支援センター」では、上記の相談会に限らず事業承継の進め方や、税務や財務、法的面でのアドバイスなど、お気軽に相談いただける体制を整えております。是非、ご利用ください。

登壇者紹介

登壇者

株式会社ヤマチク

代表取締役CEO 山崎 彰悟

沿革

- 昭和38年 福岡県福岡市早良区にて「山崎竹材工業所」を創業
- 昭和51年 竹の建築資材の需要が拡大し、熊本県玉名郡南関町にて第二工場を建設
- 昭和52年 熊本県玉名郡南関町に本社を移転し、拠点を一本化する
- 昭和55年 ウレタン塗装の技術を導入
いよいよ竹の塗箸づくりに挑戦するも、10年近く全く売れず
- 平成 2年 大手量販店様のOEM製造開始
- 平成 3年 法人化して株式会社ヤマチクを設立
「竹の、箸だけ。」を製造する会社へ
- 平成 5年 OEMの受注も増え、ようやく竹箸メーカーとして軌道に乗る
のちにヤマチクの主力商品となる「がんこ箸」の製造を開始
- 平成20年 取引先の海外展開により、受注が激増
増産のため、独自の設備開発に乗り出す
- 平成29年 年間生産数量が500万膳を突破
- 平成30年 熊本県玉名郡南関町に新たに第二工場を竣工
- 平成31年 自社ブランド『okaeri』をリリース
『okaeri』がニューヨークADCやイギリスPentawardsなどの国際的なデザイン賞を受賞
- 令和 6年 6月代表取締役に就任



これから承継される方へ

私がまだ20代のころ、日本総合研究所の創始者、野田一夫先生とご一緒する機会がありました。

その時野田先生は経営者に必要な「三つの条件」を語られていました。

1つは、自分の生涯を捧げてよいと思えるぐらい情熱を持って仕事をする事。

2つ目は、一緒に働く人たちに大きな夢をいだかせること。

そして3つ目は、どんな状況でも意思決定から逃げないこと。

この教えは、今も私の経営訓として心に刻まれています。人間は弱い生き物です。経営者も例外ではありません。

ふとした拍子に愚痴がこぼれたり、社員への不満を口にしたりすることもあつてでしょう。

しかし、経営者であれ、後継者であれ、自分の意思で今の事業に携わっていらつしゃると思います。自分が好きでやっている仕事に、社員さん達の人生を巻き込んでいると言っても過言ではありません。

ご自身の会社や事業を心から好きにならなければ、働く人が「やりがい」を感じることは絶対にありません。困難な意思決定から逃げ回っている人は絶対についてきません。

SNSを開けば簡単に儲かる「How to」が多く発信されていますが、残念ながら経営に裏技はありません。

これから事業を承継される皆様は、ビジネススキルの獲得以上に、覚悟を磨かなければならない。

ぜひこの「後継者育成塾」を研鑽の場として、励んでいただければと思います。



センターからひとこと

1963年の創業以来、半世紀にわたって熊本で竹の箸を造り続けている箸メーカーの山崎彰悟さんに承継に至るまでの話を伺いました。

ヤマチクは世界で唯一、竹の箸のみを商材にしている企業。

切り子と呼ばれる職人さんたちが、良質な竹を見極め、切り出し、素材を整え、それを専用の機械で加工し、高品質の箸を生み出されています。

OEM100%から、わずか5年で自社製品の売上比率を60%まで増やし、世界に名だたるコンペティションでの受賞歴を持つ企業に成長されております。

後継者育成塾の講話で、印象深かったのが、自分の仕事に疑いを持たずに働ける環境を提供していくこと、努力する人が必ず報われる仕事でなければならないといった思いを持って社員の方々と現場で向き合っているというお話でした。

山崎様の豊富な経験に基づいた具体的な事例や、将来展望に関するお話は、参加者一同大変参考になったと好評でした。

今後のご活躍をお祈り申し上げます。また機会がございましたら、どうぞよろしくお願ひいたします。

落語で学ぶ事業承継セミナー（天草）

開催主旨・目的

事業承継での課題は、家族内（第三者承継でも同じです）でのコミュニケーションにあります。継ぐ人と継いでもらう人との会話が多ければ多いほどスムーズに承継が進むことになるでしょう。今回、コミュニケーションの一手法として、落語を題材にしたセミナーを開催しました。自分事を他人事として客観的に話すことで、聞く側の理解も進みます。今回受講された方々のおしゃべりが滑らかになることを期待しています。

天草市 コメント

天草市で初めて、事業承継をテーマとしたセミナーを開催しました。「事業承継」というキーワードを広く市内の事業者のみなさまに知っていただくために、落語という楽しくわかりやすいテーマで企画を行い、当日は経営者や後継者など多くの市内事業者の方々にご参加いただきました。

小林先生の披露された、事業承継計画についての古典+創作落語により、事業承継について身近なものとして考える大変よい機会となったと思います。

天草市 産業政策課 酒井主査



講師

中小企業診断士 小林 工

北海道出身

2016年～関東で小林タクミ中小企業診断士事務所開設。大学時代の落語研究会での経験をもとに、事業承継の普及・推進のために「落語で楽しく学ぶ事業承継セミナー」を全国各地で開催している



天草市 産業政策課 勝木課長



天草市 産業政策課 酒井主査



参加企業紹介

有限会社アール

P 12

株式会社 MTS

株式会社後藤設備

P 13

肉のみやべ

日本農業科学株式会社

P 14

有限会社松本一平建築設計事務所

合資会社米村商店れーべん

P 15

※掲載にご同意いただいた事業者様のみ掲載しております



有限会社アール

所在地：熊本市東区石原 1 丁目 12-18

参加者：山野 宏・山野 和明

URL：www.bikeshop-r.jp/company/ (bikeshop-r.jp)

事業内容 オートバイ販売・修理・整備



受講者からひとこと

後継者としてのプレッシャーが大きく、不安を抱えていましたが、セミナーを通じて経営の基礎や承継のポイントを学び、少しずつ視界が開けました。金融機関の伴走支援も心強く、前向きに次のステップへ進む決意ができました。

支援者からひとこと

後継者育成塾を共に受講し、同じ時間を共有する中で、不安を抱えながらも一歩ずつ前に進まれる姿を拝見し、とても心強く感じました。事業承継は決して簡単な道のりではありませんが、学んだ知識と支援を活かしながら、これからも一緒に歩んでいけたらと思います。

(支援者：熊本第一信用金庫武蔵丘支店山下係長)

センターからひとこと

真摯に各ワークに取り組んでいただき、なかでも SWOT 分析については、自社のプラス・マイナスの両面を把握され、支援員と様々な議論が展開され、新たな視点で自社を見直すことが出来たのではないのでしょうか。



株式会社 MTS

所在地：熊本市南区江越 1 丁目 24-21 e.a.o. スクール

参加者：矢野 将之

URL：https://eaoschool.com

事業内容 対人関係教育に関する人材育成事業
 幼児～中学生を対象としたコミュニケーションの習い事
 小中学生のフリースクール・2～5級英検対策



受講者からひとこと

この受講で、親族内承継者として事業の分析を行い代表と話す事ができました。経営者の目線と管理者の目線の違いについて理解し、経営課題の優先度が明確になりました。

支援者からひとこと

後継者様ご自身が具体的な事業承継後のイメージを描き、経営者様と共有・議論を重ねられたことは大変素晴らしいことでした。後継者様が事業承継への覚悟を新たにすることができたことと拝察しております。事業承継計画書も策定されましたので、経営者様と共に取り組まれるものと確信しております。

(支援者：西原中小企業診断士)

センターからひとこと

自社の課題について支援者と面と向かって議論され、意欲的に計画書策定に取り組んでいらっしゃいました。事業承継計画分析資料に基づき、課題を明確にしたうえで、アクションプランへ繋げていって下さい。



株式会社後藤設備

所在地：菊池郡菊陽町原水 3242

参加者：後藤 絵梨香・後藤 勇太

URL：gotosetsubi.com

事業内容 給排水設備工事/水道施設工事



受講者からひとこと

事業者説明会を通して、事業承継の課題や解決策を学ぶだけでなく、自分たちの会社の方向性を考える良いきっかけ作りになりました。又、今まで一般社員としての意識だったのが、社長と話をしたことで、経営者側の意識に少しずつ変わってきたこともいいきっかけになったかと思います。

支援者からひとこと

後継者ご夫婦と一緒に参加でき、事業承継について共に学ぶ貴重な機会となりました。今後、自分自身も事業承継に必要な知識やスキルを身に付け、(株)後藤設備様がスムーズな事業承継ができるよう、微力ながら積極的に関わっていきたいと思います。

(支援者：熊本第一信用金庫 大津支店 岡本次長)

センターからひとこと

後継者育成塾の講義を受けて、これまで気付かなかった自社の強み・弱みを把握し、社長との対話を通じて、承継への第一歩が踏み出せたような感じを受けました。



肉のみやべ

所在地：上益城郡山都町馬見原 61-3

参加者：宮部 弘一郎

URL：298-miyabe.com

事業内容 精肉小売、卸（和牛、馬刺しほか）
ウェブ販売、委託販売



受講者からひとこと

実際に事業承継を成された社長へのインタビュー（株式会社ヤマチク様）が特に印象的でした。承継、後継者育成は容易なことではないと感じられましたが、支援センターの皆様が素晴らしい空間を提供いただけたこと、中小企業診断士の先生方も、細かにご講義頂ける機会に恵まれました。また、自社分析に注力できる時間を設けて頂いたのが一番の収穫でした。講義後のティータイム（懇談）は絶対必要です！

支援者からひとこと

後継者育成塾を通じて、多様な事業者と事業承継の課題や取り組みを共有できたことは、大変意義深い経験となりました。これからも知識と経験を磨き、的確で実効性のある指導とサポートを提供し、事業の未来を共に創造してまいります。
(支援者：山都町商工会 井上指導員)

センターからひとこと

事業の現状と将来についての共通の認識を合わせるために、現経営者と後継者が対話を通じて分析資料を策定されました。承継全般に係る自社の課題が明確になったと思います。



日本農業科学株式会社

所在地：合志市野々島 4931-1

参加者：志垣 道廣

問合先：096-242-2316

事業内容 ① 肥料の製造・販売 ② 農業生産資材の製造・販売
③ 書籍の販売 ④ 農業に関するコンサルタント業



日本農業科学 株式会社

受講者からひとこと

事業承継に対する考え方を再認識する事ができた育成塾でした。この塾で学んだ知識をこれからの会社経営に活かし持続可能な事業拡大を目標に掲げ一步一步確実に進んでまいります。

支援者からひとこと

同様の境遇を持つ経営者や後継者と事業承継計画を考えることで、志垣さんの承継後の事業計画を再検討する機会を得ることができ、自信にも繋がられたと感じました。
(支援者：商工会連合会 椎名特任指導員)

センターからひとこと

SWOT 分析により、自社の課題を抽出され、その対策について特任経営指導員の方としっかりと議論されていました。経営資源を守りながら事業を発展させて頂きたいと思えます。



後継者育成塾

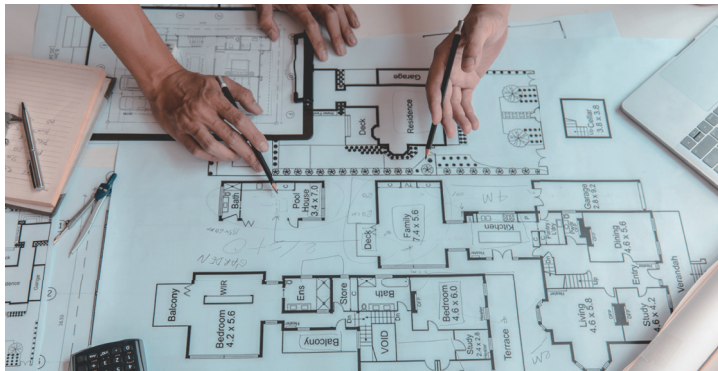
有限会社松本一平建築設計事務所

所在地：荒尾市増永 757-8

参加者：齋藤 祐子・松本 一平

問合せ先：0968-62-1248

- 事業内容**
- ① 建築の設計・監理
 - ② 建築に関するプランニング、アドバイス



受講者からひとこと

事業継承に関しては具体的な事は何も考えてなくて講座をとおしてはっきりとしたものになってきました。将来の展望や現在おかれている状況など今からの方向性が見えてきました。大変良かったです。今後事業の指針を決めて展開して行こうかと思えます。

- ① 継承者、従業員との話し合い
- ② 営業活動の継承者への移行
- ③ 官庁関係の入札受注増をめざす
- ④ 下請け業者の開拓

支援者からひとこと

ミニセミナーから計画書の策定まで意欲的に取り組まれました。育成塾を通じて明確になった課題に対して我々と連携して円滑な承継に向け取り組んでいきたい。

(支援者：熊本中央信用金庫 荒尾・中央支店 中嶋調査役)

センターからひとこと

時代が変わっても受け継いでいく想いを大切にされていることが伝わりました。取り組むべき課題が明確になりましたので、優先順位をつけて取り組んでいきましょう。



合資会社米村商店れーべん

所在地：下益城郡美里町馬場 728

参加者：米村 光智

問合せ先：0964-46-3908

- 事業内容**
- 管工業



受講者からひとこと

社長交代が迫る中、何をどう進めればいいのか全く見えず、不安ばかりでした。しかし、セミナーを通じて承継のプロセスや経営のポイントを学び、スケジュールのイメージも掴めました。金融機関の支援もあり、少しずつ前向きに準備を進められそうです。

支援者からひとこと

日常業務で多忙の中、自社の経営状況や課題を把握できる良い機会になったかと思えます。今後、具体的なスケジュールを組み、スムーズに承継できる様支援を続けていきたいと思えます。

(支援者：熊本第一信用金庫 松橋支店 鈴木支店長代理)

センターからひとこと

事業承継分析資料を作成するにあたり、自社の課題について、支援機関の方としっかりと議論されておりました。経営課題に対する解決策が明確になり、円滑な承継に繋がると期待しております。



支援機関一覧

No.	支援機関	TEL	住所
1	経済産業省 九州経済産業局	092-482-5448	福岡市博多区博多駅東 2 丁目 11 番 1 号
2	財務省 九州財務局	096-353-6351	熊本市西区春日 2 丁目 10 番 1 号
3	熊本県	096-333-2316	熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号
4	熊本市	096-328-2424	熊本市中央区手取本町 1 番 1 号
5	独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州本部	092-263-0300	福岡市博多区祇園町 4 番 2 号 サムティ博多祇園 BLDG.2 階
6	熊本商工会議所	096-354-6688	熊本市中央区横紺屋町 10 番地
7	荒尾商工会議所	0968-62-1211	荒尾市大正町 1 丁目 4 番 5 号
8	玉名商工会議所	0968-72-3106	玉名市高瀬 290-1
9	山鹿商工会議所	0968-43-4111	山鹿市山鹿 1 番地 3 階
10	八代商工会議所	0965-32-6191	八代市松江城町 6-6
11	人吉商工会議所	0966-22-3101	人吉市南泉田町 3-3
12	水俣商工会議所	0966-22-3101	水俣市大園町 1 丁目 11 番 5 号
13	本渡商工会議所	0969-23-2001	天草市栄町 1-25
14	牛深商工会議所	0969-73-3141	天草市牛深町 215-1
15	熊本県商工会連合会	096-325-5161	熊本市中央区安政町 3-13 熊本県商工会館 7 階
16	熊本県中小企業団体中央会	096-325-3255	熊本市中央区安政町 3-13 熊本県商工会館 6 階
17	株式会社 日本政策金融公庫 熊本支店	096-353-6534	熊本市中央区安政町 4-22
18	株式会社 商工組合中央金庫 熊本支店	096-352-6184	熊本市中央区城東町 2-23
19	株式会社 肥後銀行	096-326-8602	熊本市中央区練兵町 1 番地
20	株式会社 熊本銀行	096-385-1280	熊本市中央区水前寺 6 丁目 29 番 20 号
21	熊本第一信用金庫	096-355-6114	熊本市中央区花畑町 10 番 29 号
22	熊本信用金庫	096-326-9423	熊本市中央区手取本町 2 番 1 号
23	熊本中央信用金庫	096-366-1395	熊本市中央区大江本町 1 番 6 号
24	天草信用金庫	0969-24-1177	天草市太田町 9 番地 3
25	熊本県信用組合	096-353-1207	熊本市中央区紺屋今町 1 番 1 号
26	熊本県信用保証協会	096-375-2000	熊本市中央区南熊本 4 丁目 1 番 1 号
27	熊本県中小企業活性化協議会	096-311-1288	熊本市中央区横紺屋町 10 番地 熊本商工会議所ビル 3 階
28	中小企業庁 熊本県よろず支援拠点	096-286-3355	上益城郡益城町田原 2081 番地 10
29	公益財団法人 くまもと産業支援財団	096-286-3311	上益城郡益城町大字田原 2081 番地 10
30	熊本県弁護士会	096-325-0913	熊本市中央区京町 1 丁目 13 番 11 号
31	日本公認会計士協会 南九州会熊本県部会	096-345-1313	熊本市中央区花畑町 4 番 7 号 朝日新聞第一生命ビルディング 3 階
32	南九州税理士会熊本県連合会	096-366-8251	熊本市中央区大江 5 丁目 17 番 5 号
33	一般社団法人 熊本県中小企業診断士協会	096-288-6670	熊本市中央区南熊本 3 丁目 14-3 くまもと大学連携型インキュベータ 208 号室
34	熊本県司法書士会	096-364-2889	熊本市中央区大江 4 丁目 4-34
35	熊本県行政書士会	096-385-7300	熊本市中央区水前寺公園 13 番 36 号 熊本県行政書士会館
36	熊本県社会保険労務士会	096-324-1124	熊本市中央区細工町 4-30-1 扇寿ビル 5F
37	公益社団法人熊本県不動産鑑定士協会	096-385-5020	熊本市中央区水前寺 6 丁目 5-19
38	熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点	096-319-5566	熊本市中央区下通 1 丁目 8-22 JTB熊本ビル 6F

エリアコーディネーター紹介

エリアコーディネーターとは

担当するエリアの事業者様の事業承継に関する色々なお悩み・心配事を直接訪問し、お尋ねします。その上で事業承継・引継支援センターのサブマネージャーや外部専門家と協力して課題の解決に努めます。熊本県事業承継・引継支援センターでは経験豊富なコーディネーターが親身になってお話を聞きしています。また、各エリアでは定期的な個別相談会も開催しています。

熊本市内エリア担当

西 陽一

コロナ5類移行後も、原材料・人件費高騰等で非常に厳しい経済環境が続いております。そのような中で皆様が抱えておられる事業承継に係るお悩みに対して、全力でサポートさせていただきます。

熊本市内(東区)・益城エリア担当

對田 光紘

大切な事業を次の世代へ。悩みや不安に寄り添いながら、一緒に最適な道を見つけていけたらと思っています。

県北・阿蘇エリア担当

杉浦 康治

県北エリアは台湾企業の進出もあり比較的経済活動が活発なエリアです。相談件数も多く様々な内容の事例をお受けしています。不安を感じたらまずはご相談下さい。

県南エリア担当

長尾 睦生

熊本市南区、宇土市、宇城市、氷川町及び八代市を担当して訪問しています。今年度から毎週水曜日に八代商工会議所にて事業承継相談をおこなっていますので、気軽に相談ください。

熊本市・広域エリア組合担当

上野 弘毅

当センターではエリアごとの活動に加え、新たに組合組織を窓口とした事業承継支援を行ってまいりますので、今後の組合事業活動にお役立ていただければと思います。お気軽にご相談ください。

天草エリア担当

山下 憲昭

天草地域では、地域内の行政・団体・金融機関等が一体となって事業承継の問題解決に向かって支援を行っています。毎月事業承継個別相談会も開催。全力でサポートできるように努めて参ります。

葦北・水俣エリア担当

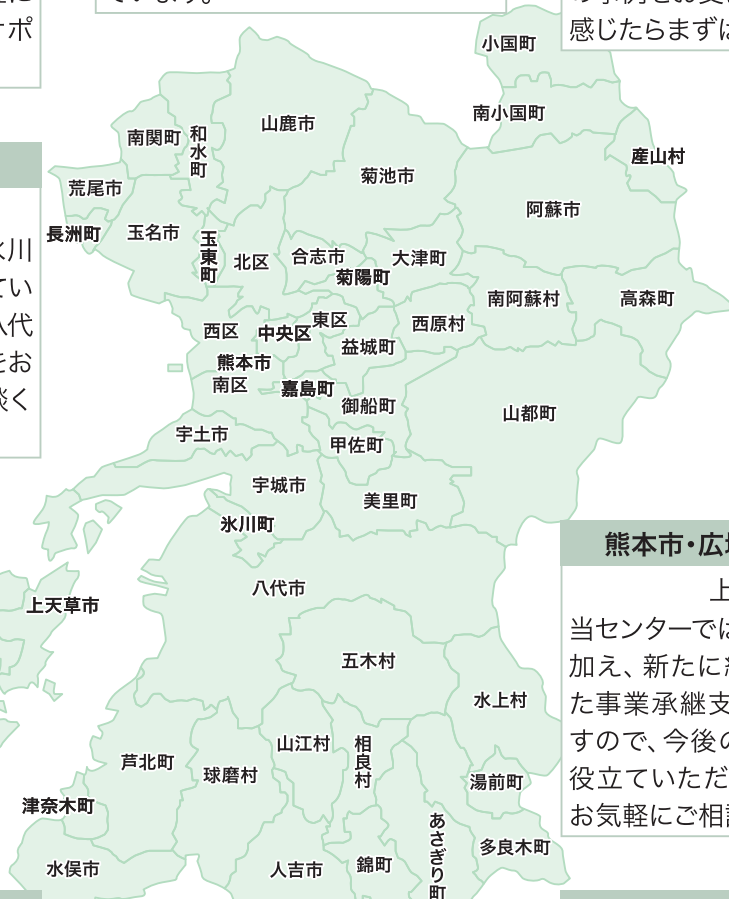
田中 輝明

後継者難による休・廃業を回避し、事業存続に向けて日々活動しております。事業承継に関するどのような問題にも真摯に対応させていただきます。まずはお気軽にご相談下さい。

球磨・人吉エリア担当

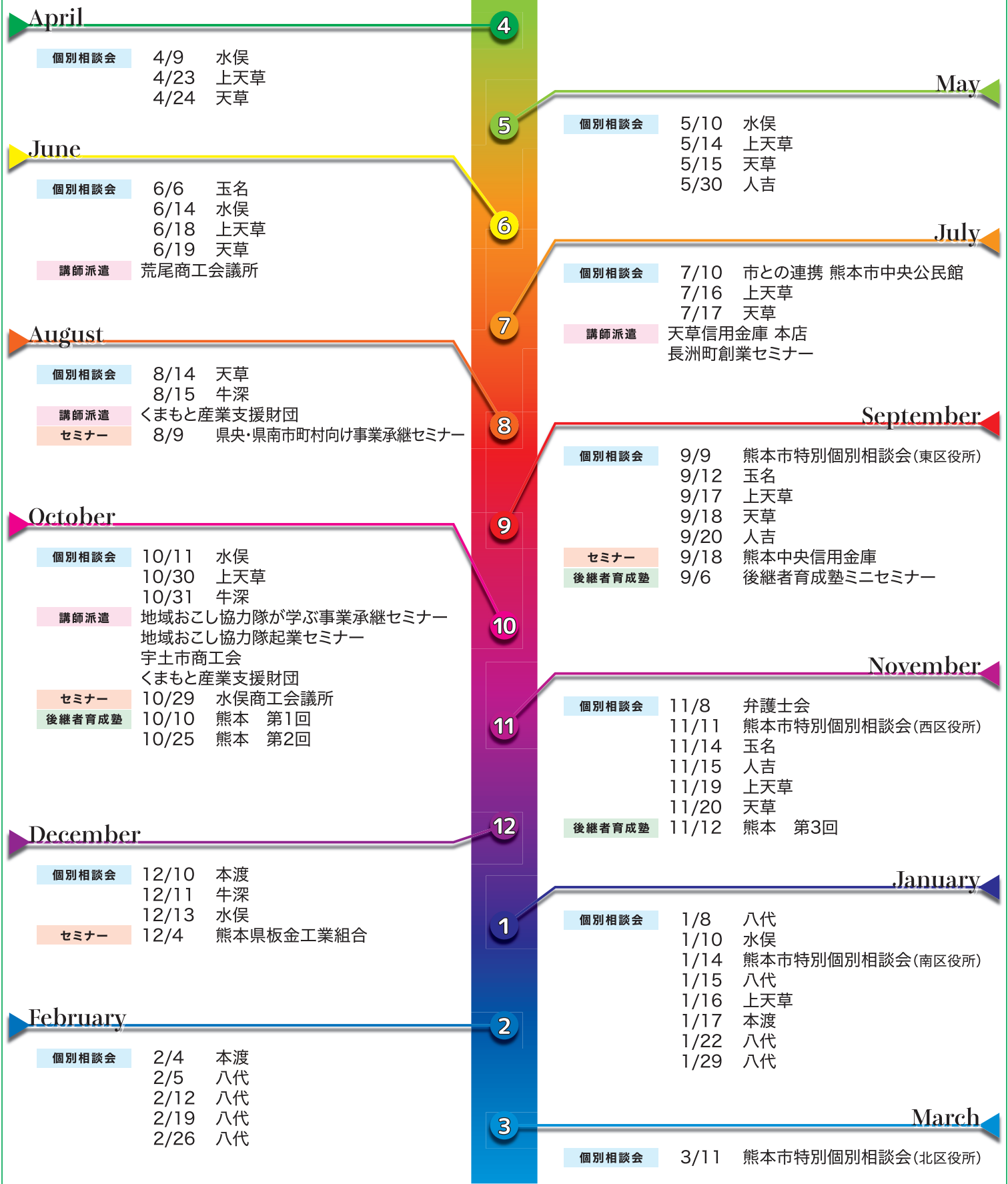
根岸 倫太郎

今年度から熊本県県南広域本部球磨地域振興局、球磨・人吉10市町村と連携協定を締結して事業承継を中心とした課題解決に取り組んでおり、水害からの復興支援にも更に力を入れて参ります。



センター活動報告

2024年度 活動実績



後継者育成塾歴史



熊本県事業承継ネットワーク
後継者育成塾
2019

熊本県内14社に
ご参加いただきました



熊本県事業承継ネットワーク
後継者育成塾
2020

熊本県内33社に
ご参加いただきました



熊本県事業承継・引継ぎ支援センター
後継者育成塾
2021

熊本県内12社に
ご参加いただきました

2020年：熊本県事業承継ネットワーク事務局と熊本県引継ぎ支援センターが統合されて
熊本県事業承継・引継ぎ支援センターとなりました。

2019

2020

2021

コロナ禍のため集合での開催ができず、
伴走者とブロックコーディネーターが
個別訪問する形で行いました



項目	内容
1. 事業承継の概要	事業承継とは、経営者や役員が退職・引退する際に、事業の経営権や資産を他の個人や法人に移すことである。
2. 事業承継のメリット	経営者の老後資金の確保、事業の継続、従業員の安定など。
3. 事業承継のデメリット	承継者の選定、資金調達、法的リスクなど。
4. 事業承継の手続き	承継者の選定、契約書の作成、登記など。



項目	内容
1. 事業承継の概要	事業承継とは、経営者や役員が退職・引退する際に、事業の経営権や資産を他の個人や法人に移すことである。
2. 事業承継のメリット	経営者の老後資金の確保、事業の継続、従業員の安定など。
3. 事業承継のデメリット	承継者の選定、資金調達、法的リスクなど。
4. 事業承継の手続き	承継者の選定、契約書の作成、登記など。

塾終了後、基調講演・受講者の
パネルディスカッションを行いました

コロナ禍での開催のため、
8名のセンター登録外部専門家が企業へ訪問し
一緒に計画書を作成しました。



天草会場12社・熊本会場8社にご参加いただきました



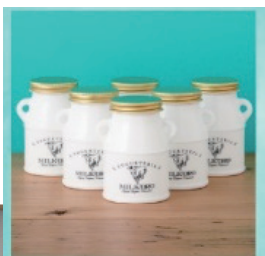
天草会場9社・熊本会場10社にご参加いただきました

2022年：天草市にご賛同いただき「あまくさ事業承継サポート会議」と共催で開催。初めて天草市内で開催を試みました。

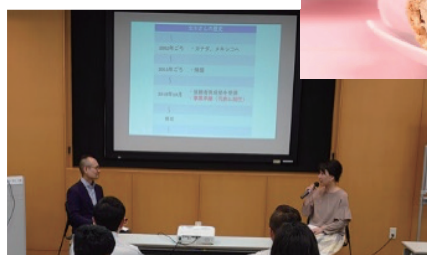
21

2022

2023



株式会社オオヤブデイリーファームの大藪氏と
有限会社幸福堂の山崎氏より基調講演をいただきました



天明堂の北川氏より
基調講演をいただきました



センター紹介

事業承継 引継ぎ 支援

事業承継の準備には5年～10年程度の期間を要します。

とにかく「**早めの相談**」がポイントです。

そのために**早めの準備、計画的な取組みが重要**です。

事業承継の必要性はわかっている、初めてのことで何から手を付けていいのかわからない。

まずは、信頼のおける公的支援機関の「**熊本県事業承継・引継ぎ支援センター**」へ
会社の将来について一緒に考えてみませんか？



統括責任者

山田プロジェクトマネージャー

- ◇ 事業承継（親族内・第三者）に関するご相談
親族内で後継者が不在の場合、従業員を含む第三者への承継を支援します。
- ◇ 事業承継診断による事業承継・引継ぎに向けた課題の抽出
- ◇ 事業承継を進めるための事業承継計画の策定
- ◇ 事業引継ぎにおける譲受/譲渡企業を見つけるためのM&Aマッチング支援
事業承継を通して多角化したい企業の支援をします。

～親族内承継～



事業承継（親族内承継）

井上 承継コーディネーター



事業承継（親族内承継）

古川 サブマネージャー

現経営者の子供をはじめとした親族に承継させる方法。一般的に、「内外の関係者から心情的に受け入れやすい」、「後継者の早期決定により長期の準備期間が確保しやすい」、「相続等により財産や株式を後継者に移転できるため所有と経営の一体的な承継が期待できる」、といったメリットがあります。

現在の中小企業の経営環境を踏まえると、現経営者は後継者が安心して引き継げるよう経営状態を引き上げることが求められます。また、事業承継を円滑に進めるためには、現経営者が自らの引退時期を定め、経営者を育成する準備期間を設けて後継者教育に計画的に取り組むことが大切です。



県南宇土・宇城・八代エリア担当

長尾 エリアコーディネーター



県南葦北・水俣エリア担当

田中 エリアコーディネーター



天草エリア担当

山下 エリアコーディネーター



球磨・人吉エリア担当

根岸 エリアコーディネーター



県北・阿蘇エリア担当

杉浦 エリアコーディネーター



熊本市・益城エリア担当

対田 エリアコーディネーター



熊本市エリア担当

西 エリアコーディネーター



熊本市・広域エリア担当

上野 エリアコーディネーター

当センターでは、8名のエリアコーディネーターを配置するとともに支援機関や専門家ともネットワークを築き、事業承継の課題を抱える企業の支援に対応できる体制を構築しております。

守秘義務は厳守いたしますので安心してご相談ください。



- 後継者がいない、今後の会社は存続できるのか？
- 従業員に後継者として会社を任せたいのだが・・・
- 会社（事業）を譲りたい！
- 会社（事業）を譲り受けたい！
- 親族への計画的な事業承継をしたいけれど・・・

～ 第三者承継 ～

- ・親族以外の役員、従業員に承継する方法。
- ・能力ある人材を見極められる。経営方針などの一貫性を保ちやすいといったメリットがあります。

～ M&A ～

- ・親族や従業員など、身近に後継候補者がいない場合などに検討される方法。
- ・広く外部に候補者を求められ、企業改革の好機となり、更なる成長の推進力となり得るといったメリットがあります。



事業承継(第三者承継)
木下サブマネージャー



事業承継(第三者承継)
安田サブマネージャー



事業承継(第三者承継)
村岡サブマネージャー



事業承継(第三者承継)
北里サブマネージャー



事業承継(第三者承継)
富安サブマネージャー



事業承継(第三者承継)
坂田サブマネージャー



事業承継(第三者承継)
田代サブマネージャー

専門家による対応ケースごとにきめ細かいアドバイスとご支援をいたします。

後継者人材バンク

～ 事業を「引き継ぐ」という新たな創業スタイル ～



メリット

前経営者の経営資源を承継できます
既存事業だからこそ、これまで培われてきた人脈・知名度・店舗設備・仕入先・販売先などを含め、経営ノウハウまで承継できます。



メリット

創業コストを抑えられます
既存の店舗や設備を活用することで、少ない資金で創業でき可能性があります。



メリット

U・I・Jターンで経営者に
従業員としてのU・I・Jターンではなく、後継者として経営者を目指すことができます。

「熊本県後継者人材バンク」とは？

熊本商工会議所に設置された事業引継ぎの公的相談窓口「熊本県事業承継・引継ぎ支援センター」が運営する事業です。創業を目指す起業家、経験や技術を活かして独立したい方、事業意欲・経営意欲のある県内へのU・I・Jターン希望者と後継者不在の会社や個人事業主と引き合わせ、事業引継ぎの実現に向けた支援を行います。

経済産業省 中小企業庁 事業承継・引継ぎ支援事業



熊本県事業承継・引継ぎ支援センター

お問い合わせ TEL : 096-311-5030

〒860-0022 熊本市中央区横紺屋町10番地 5階 FAX 096-311-5031
Mail jigyouyoukei@kumamoto-hikitsugi.go.jp HP <https://kumamoto-hikitsugi.go.jp>

